

楽しかったね！！

和太鼓ワークわく

7月25日(土)暑～い松本に、9月例会『太鼓でばびゃんこ』に向けてのワークショップ&事前交流会のため、たまっこ座、のみなさんに来ていただきました。夏休みに入った所もあり、地区行事や夏祭りなど沢山の催し物がある中43名の参加で行う事ができました。



ワークショップでは、演奏もを見せていただき、太鼓をたたいてみたり、いろんな楽器を紹介してもらったり。そして、曲を教えてもらって演奏にチャレンジ！

太鼓をたたく人、掛け声をかけたり鳴り物を鳴らしたりする人。小さな子もお母さんと一緒に加わり、とってもステキな演奏になりました。

【こどもの感想】

お兄さんの太鼓を観るところと、僕が太鼓を叩くところがお祭りみたいで楽しかったよ(4歳男子)

【大人の感想】

- ・小気味よい軽やかな音、お腹の底に響く迫力ある音など、ひとつの太鼓から出される音に様々な表情があり驚きました。
- ・9月例会では、お芝居を通して感じるもの、太鼓を通して感じるものを楽しみにしたいと思います。
- ・楽しかったです。一人一人叩いて、一曲出来て大満足でした。

ワークショップの後は

大人→《事前交流会/末永さんを囲んで》
子ども→《モトム&コウくんと遊ぼう》



事前交流会は、子ども達をモトム&コウくんたちにまかせて大人たちが移動。

劇団の事・御自身の子育ての事、子どもたちに対する思いを末永さんの、心にしみる穏やかで静かな口調で話していただきました。

【参加者の感想】

- ・子どもたちの心が豊かに育っていくために必要なことを改めて考えさせられました。様々な体験のお話をありがとうございました。
- ・自然の命をもらって生まれた楽器、どれひとつ同じものはなくどれも素敵。叩く人により音が違う。昔から神事に使われてきた、そんな太鼓と芝居がからみあって表現される世界です。珍しいです。ますます例会が楽しみになりました。

とりまく環境や子育てについて世間の冷たい視線やプレッシャーの中で育つ子ども達が、自分を表現出来る人間になる。

自分で伸びていく力を持っている子どもを大人は声かけし、近すぎず遠すぎずいつでも見守っているよ、とサインを送り続ける。みんなで育てていく。

大人が何を大切にしているか本気で生き様をさらして欲しい。

エールと課題をいただきました。

素敵な親子さんです。



子ども達は、小さな子から大きな子が一緒になってお兄さん達と大はしゃぎ！その姿を見ていると末永さんのお話と通じるところがあり、暖かいまなざしを感じました。例会がとても楽しみです！！

参加人数

13世帯 43名
内訳 子ども18名/高校生1名
大人24名(内スタッフ7)